

軽四輪駆動積載車
仕様書

(デッキバンタイプ)

令和 7 年度

五 條 市

軽四輪駆動積載車仕様書（デッキバンタイプ）

第1 総 則

この仕様書は、五條市（以下「本市」という。）が令和7年度に購入する軽四輪駆動積載車（以下「本車両」という。）を製作するにあたり、必要な事項を定めるものとする。

第2 概 要

本車両は、荷台に可搬式消防ポンプ及び各種消火用器具を積載し、防火水槽、消火栓及び河川等の水利より放水をなし、一般火災に対し速やかに活動出来るものとする。

第3 艤装の条件

- 1 本車両は、この仕様書に定めるほか、次に掲げる法令等に適合するもので、緊急自動車としての承認が得られたものであること。
 - （1）道路運送車両法（昭和26年法律第185号）
 - （2）道路運送車両の保安基準（昭和26年運輸省令第67号）
 - （3）消防法等の関係法令、通達
 - （4）消防用車両の安全基準（平成19年3月日本消防検定協会）
- 2 本車両の製作は、この仕様書及び製作承認図等（契約後受注者にて製作すること）に従うこと。

第4 提出書類

- 1 受注者は、契約後仕様書の詳細について速やかに本市と打合せを行い、次の書類等を2部提出したうえ製作を開始すること。
 - （1）製作工程表
 - （2）製作承認図（艤装5面図、電気配線図等）
 - （3）その他本市が指示するもの
- 2 受注者は、納車に際して次に掲げる書類等を各2部提出すること。
 - （1）自動車改造計算書
 - （2）パーツリスト
 - （3）工程写真
 - ア 製作中各工程（シャシ、組立中、塗装後）
- 3 受注者は、納車に際して次に掲げる書類等を各1部提出すること。
 - （1）自動車検査証
 - （2）自動車損害賠償責任保険証書（25ヶ月）及び領収書
 - （3）自動車重量税領収書及びリサイクル券
 - （4）自動車保管場所登録証書

- (5) 緊急自動車届出書
- (6) 保証書（積載品等含む）
- (7) 諸元明細書（シャシ、艀装、各装置、積載品等）
- (8) 車両4面写真（車検登録後）
- (9) 取付品及び装備品の取扱説明書

第5 検査等

- 1 仕様書及び契約時、納車時の添付書類により、受注者は工程毎に自主点検を行い、その結果を報告すること。なお、次の検査は本市が立会し、実施するものとする。
 - (1) 中間検査

本市が適当と認めるときに、受注者の製作工場において、営業及び技術設計担当者の立会のもと次の検査を実施すること。

 - ア 艀装工程に基づく進行状況検査
 - イ 仕様書、承認図及び協議決定事項検査
 - ウ 組立板金工作の仕上がり状況検査
 - エ 主要装備品、積載品の装着、架装状況及び確認検査
 - オ その他、本市が必要とする事項の検査
 - (2) 完成検査

車両納車時に次の検査を受けること。

 - ア 車体の外観、仕上げ（指定文字等）検査
 - イ 装備品及び付属物品の装着、架装検査
 - ウ 各種装置等の機能検査
 - エ 中間検査時の指示事項に基づく検査
 - オ その他、発注者が必要と認める検査
- 2 検査は本市の指示によって行うものとし、検査に必要な測定機器等は受注者にて準備すること。
- 3 各検査において不都合が生じた場合は双方で協議し、交換等必要な措置を講じること。
- 4 検査費用は、中間検査のための機器及び必要書類に関する一切の費用について、受注者側が負担すること。

第6 設計、製作上の注意

- 1 受注者は、契約にあたりこの仕様書を承認し、不明な点は本市に質問し十分理解した上で契約すること。又、契約後は本市との打ち合わせにより本仕様書の詳細を決定のうえ設計し、製作上の疑義についても全て本市の承認又は支持を受けること。
- 2 受注者は、諸般の事情により本仕様書並びに承認図において変更が必要と認めた

とき、又は不明な点が生じたときは本市と協議を行い、変更承認図を提出して承認を得ること。

- 3 受注者は、仕様書に記載のない物についても、必要な物は製作すること。
- 4 受注者は、設計・製作・材料・部品等に関し、特許その他の権利上の問題が発生した場合には、その責任を負うこと。

第7 諸費用

- 1 検査・新規登録の手続きに関する経費については、自動車登録手数料、自動車損害賠償責任保険料、自動車重量税及びリサイクル料金を含め、原則的に受注者が負担する。
- 2 車両以外に積載品等、届出や申請が必要な物については受注者がその費用を全て負担すること。

第8 納車前点検整備

- 1 納車時には、艀装、積載品、装備品及び車両本体の各部について十分な点検整備を行っておくこと。
- 2 納車時には、使用燃料等（軽油・ガソリン・オイル・エアー等）は積載品、装備品を含めて全て満量とすること。

第9 納車等

- 1 納 期 令和8年3月17日
- 2 納車場所 奈良県五條市岡口一丁目3番1号
五條市役所
- 3 納車台数 1台（装備品・積載品を含む）

第10 取扱講習（技術指導）

受注者は、納車時にシャシ及び主要装備品の講習を行い、又納車後に本市の指定する日程で安全操作技能講習を2回行うこと。

なお、実技訓練及び維持管理における講習会に係る費用については、受注者の負担とする。

第11 保証等

- 1 納車に至るまでに発生した事故については、いかなる内容も受注者がその責任を負わなければならない。

2 本完成車両の保証期間は、納車後1年間とする。

3 納車後1年以内における車両機器の故障（事故及び過失による損傷は除く）発生については、受注者の責任により速やかに無償で修理、取替及びその他必要な措置を講じること。但し、製作上の欠陥による故障は、期間に拘らず本市の使用期間中において保証するものとし、不具合発生の理由書を提出すること。

第12 仕様

1 車両の主要な寸法等（艀装後）

- (1) 全 長 : 3,400 mm以下
- (2) 全 幅 : 1,480 mm以下
- (3) 全 高 : 2,000 mm以下

2 シャシの構造条件等

(1) 使用するシャシの主要諸元及び性能は、次のとおりとする。

- ア 種別 軽貨物自動車（デッキバンタイプ）
(令和7年に制作された車両)
- イ 乗車定員 4名（キャビン内2名、後部荷台2名）
- ウ エンジン ガソリンエンジン
- エ 総排気量 660cc未満
- オ ブレーキ装置 ABS（アンチロックブレーキシステム）が装着されているもの

(2) トランスミッション : 四輪駆動 MT

(3) タイヤ等

- ア ホイール付きオールシーズン用タイヤ4本
- イ ホイール付きスペアタイヤ1本
- ウ タイヤチェーン（シングルタイプ・バンド付き）4本

(4) 電力装備

- ア パワーステアリング式
- イ 全席パワーウインドウ
- ウ 集中ドアロック
- エ エアコン
- オ ドライブレコーダー（フロント録画タイプ）
- カ 4ドア

(5) その他装備

- ア サイドバイザー : 運転席及び助手席の各ドア上部
- イ フロアマット : キャブ内前後席一式
- ウ 標準工具

3 キャブの構造条件等

- (1) 電子サイレンアンプ、スイッチ類等は、ダッシュボードに取付ける。
- (2) 赤色警光灯をキャブ上部に取付ける。
- (3) 消防団章を車両前面中央に取付ける。

4 可搬式消防ポンプ

- (1) 当市が支給する、可搬式消防ポンプ B 3 級を積載すること。
(全自動充電器他付属品を含む)

5 ボディ艗装

(1) 可搬式消防ポンプ積載装置

可搬式消防ポンプはキャビンと完全に仕切られた車両の軸重配分を考慮し、荷台部に設置すること。また、専用の可搬式消防ポンプ積載装置（スライドレール式）によって、簡単かつ安全に積載及び積み下ろしができること。なお、車両の後方から容易に操作できるように設置すること。また、真空ポンプの排水やポンプ使用後の残水の排水も積載したまま、排水できるような構造とし、積載したまま可搬式消防ポンプの運転を可能とすること。

(2) 吸水管取付け装置

後部荷台に吸水管（75mm×6m）を取付け、ポンプを積載したまま吸水及び放水が可能な構造とすること。なお、吸水管及びホースを容易に接続できる構造とすること。

(3) ホース収納装置

ホースの収納については、荷台上に専用のホース枠を設け、ホース 5 本程度収納できる構造とし、外部から容易に取出すことができる構造とすること。

(4) サーチライト

車両後部にサーチライトを取付け 360 度旋回、伸縮ができ、スイッチは容易に操作できる位置に設けること。

(5) 二つ折り梯子取付け装置

二つ折り梯子取付け装置は、ルーフ上部に取付けること。

(6) 作業灯

後部荷台用に、LED 作業灯を取付け、スイッチは容易に操作できる位置に設けること。

(7) 自動充電器

車両には全自動充電器、可搬式消防ポンプには、メーカー純正の全自動充電器を取付け、電源の取り込み口 1 箇所とし、マグネット式とすること。

(8) 後退警報器

後退警報器を車体後部に設置すること。

(9) その他取付け装置

管そう、とび口、消火栓開閉キー、防火水槽給水装置開閉キー、ノズル、金て

- こ、スタンドパイプ、分岐管、吸管枕木、ポンプ中継媒介金具、消火器、車輪止め、スコップの取付装置を荷台後部にそれぞれ設けること。
- (10) 燃料タンクは、シャシ固有の位置に取付ける。
- (11) 各操作部（ハンドル、レバー、スイッチ等）には、名称および操作方法等を明記すること。
- (12) 団マークは、車体前方に取り付けること。
- (13) 重量の軽減を図るために、アルミ材料を使用し、取付品の変更があった場合でも容易に取替できる構造とする。

6 電装品

- (1) ルーフ前側に赤色警光灯（標識灯一体型）を取り付け、赤色点滅灯を後部左右に各 1 式取り付ける。
- (2) 電子サイレンアンプのマイクジャックをダッシュボックス付近に、又マイクをダッシュボードに取り付ける。
- (3) 電子サイレンアンプの音声合成装置は、標準のものに警報時の文言を加える。尚、詳細は別途打合せとする。
- (4) ルームミラー型バックモニター及び車両後部にバックカメラを取り付けること。なお作動はバックギア連動及び作動スイッチによる任意作動とし、スイッチを運転席から操作しやすい位置に設けること。
- (5) バッテリーは各電装品の使用に十分耐えること。

7 塗装及び記入文字

- (1) 車両は朱色とし、塗料は VOC（揮発性有機溶剤）削減、環境負荷物質（鉛など）を一切含まない等の環境を考慮したハイソリッドウレタン塗料を使用すること。
- (2) ポンプ架台レールは、黒色塗装とすること。
- (3) アルミ縞板使用部は、無塗装とすること。
- (4) キャビン両側後部ドア及び標識灯には指定の文字を記入する。詳細は別途打合せとする。
- (5) キャビン両側前部ドアに「消防団マーク」を記入すること。
- (6) 車両後部両側面に「○部」を記入すること

8 仕様の詳細について（装備品・付属品）

(1) 艀装取付品

1	赤色散光式警光灯	大阪サイレン NP・ML-VK2M-A1（同等品可）	1 式
2	電子サイレンアンプ	大阪サイレン TSK-D151（同等品可）※マイク付標準搭載メッセージとして、火の用心・春の火災予防運動・秋の火災予防運動・乾燥注意報・年末の火災警戒の 5 種類の広報が可能なもの。	1 式
3	標識灯	上記 1 に内蔵	1 個
4	前後部赤色点滅灯	大阪サイレン LFA-50 LED 式（同等品可）	4 個

5	サーチライト	12V-45W（スイッチ付）LED 式	1 個
6	作業灯	大阪サイレン LIA-200 LED 式（同等品可）	1 個
7	団マーク	メッキ仕上げ	1 個
8	ポンプ積載装置	スライド・引き出しレール式	1 式
9	ホース収納装置	5 本収納可能（65mm ホース）	1 式
10	収納ボックス	後部座席下	1 式
11	充電用コンセント	車輻・ポンプ兼用	1 式
12	後退警報ブザー		1 式
13	ドライブレコーダー	コムテック HDR-752G（同等品可）	1 式
14	バックモニター	ルームミラー型	1 式
15	吸水管取付装置	75mm×6m	1 式
16	とび口取付装置	2 本用	1 式
17	管そう取付装置	65mm 標準タイプ	2 式
18	ノズル取付装置	20φ, 23φ	2 式
19	消火栓開閉キー取付装置		1 式
20	吸管枕木取付装置		1 式
21	剣先スコップ取付装置		1 式
22	ポンプ中継媒介金具取付装置		1 式
23	スタンドパイプ取付装置		1 式
24	分岐管取付装置		1 式
25	車輪止め取付装置		1 式
26	消火器取付装置		1 式
27	訓練旗取付装置		1 式

（２）積載品及び付属品

1	吸管	75mm×6m AC 金具付 軽量タイプ	1 本
2	吸管ストレーナー	町野式	1 個
3	吸水管ちりよけ籠	75mm 黄色	1 個
4	吸管ロープ	10φ×15m	1 本
5	吸管枕木	ゴム製	1 個
6	とび口	1,800mm	2 本
7	管そう	65mm（軽合金アルミ製）取手、ベルト付ラバー巻	2 本
8	噴霧ノズル	23φ, 20φ（各 1 個）	2 個
9	消火栓開閉キー	地下式 FH バール	1 本
10	防火水槽給水装置開閉キー	地下式（二又）	1 本
11	剣先スコップ		1 本
12	金てこ		1 本
13	単口引上式スタンドパイプ	AC 製 65mm	1 本
14	双口分岐管	65mm⇒50mm-65mm 及び 50mm-65mm 2 コック式	1 個
15	消防用ホース	65mm×20m 使用圧 1.3MPa 以上	4 本
16	消防用ホース	50mm×20m 使用圧 1.3MPa 以上	4 本
17	充電器（車両・ポンプ用）		1 式
18	車輪止め		1 組
19	タイヤチェーン		1 式
20	消火器	ABC 粉末 10 型 車載用	1 本
21	ポンプ中継媒介金具	町野式	1 個

22	訓練旗	300 mm×500 mm 「五條市消防団」 ネーム入り	1 式
23	赤色点滅灯	フロントマスクおよび後部に各 2 個取付。	4 個
24	旗立てパイプ取付	訓練旗 1 式	1 式
25	投光器	L E D 投光器（三脚付き）	1 式
26	ガソリン携行缶	10ℓ ※車両に設置場所を設けること	1 個
27	バックモニター		1 式
28	ハンドライト	L E D ・ 防水 ・ 電池式	1 個
29	伸縮式カラーコーン		4 個
30	媒介金具	50mm⇒65mm	2 個
31	媒介金具	65mm⇒50mm	2 個
32	肩掛け式 ホースバック		2 個
33	防火衣一式	<p>コートタイプ ベルト付（防火帽（しころ付）、銀長靴含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防火衣は、（財）日本防災協会の消防用防火服としての認定制度適合品であり、外衣と内衣（透湿防水兼断熱層）で構成される多重構造とし、コート型とする。外衣は主生地合成繊維（カーボン系）、配色生地にアラミド繊維を主原料に使用したリップストップ構造、内衣は透湿防水兼遮熱性を備えた長袖タイプとする。 ・防火帽は、防火帽の規格（平成 3 年労働省告示 39 号改正）に適合し、飛来・落下及び墜落時による危険防止が可能なものであるとする。 ・銀長靴は、JIS 規格 T8101 安全靴に定める安全性を確保しているものとする。 	2 着
34	ホースブリッジ	2 個 1 組	1 式
35	停止表示板		1 個
36	ジェットシューターS	同等品可	3 個

※取り付け品及び積載品は、発注者と十分に協議の上取り付けを行うこと。また、取付け工賃は全て受注者の負担とすること。

※取り付けの際は、脱落防止に十分に留意すること。